

---

# 短編集

片岡

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

短編集

### 【Nコード】

N3303Z

### 【作者名】

片岡

### 【あらすじ】

ジャンルも方向性もバラバラなものを無造作に詰め込んでいく予定。モバゲーやってた頃に公開していた作品もあります。

馬鹿だったり病んだり意味わからなかったり。

たまに著作権放棄のお題をお借りして好き勝手やってるかもしれませんがせん。

いじめる(前書き)

阿呆です。

“それ”は闇の中で虚空を見つめていた。そうして時たま、通り過ぎる人々を恨みの籠もった瞳で睨みつけては暗闇で蠢うごいていた。

父を、殺された。次に母を、そして妹。果てには手に手を取り合っ  
てようやつと共に逃げ延びてきた弟までもが、その凶刃にかかり、  
尊い命を奪われた。

おれたちがいつたい、何をした！

……そう、叫び出したい気持ちだった。が、少しでも目立つよう  
な行動を取れば己も殺されてしまう。“それ”はぐっと堪えた。

だが、悔しい。

おれたちがいつたい、何をした……？

其処に在るというだけで嫌われ、蔑まれ、命を奪われる。こんな  
にも不条理なことが、果たしてあって良いのだろうか。

復讐、してやる。

そう、そうだ。復讐、復讐だ。復讐してやるのだ。家族の、仇を  
取るのだ。

“それ”は駆けた。疾風の如く素早く駆けた。

「きゃああああ！」

絹を裂くような女の悲鳴。手には、禍々しい凶器。

またアレか！！

必死に逃れようとするも、時既に遅し。あの悪夢が、再び襲う。

徐々に動かなくなる手足。霞む視界。己の情けなさに、涙が出る。此処まで、か。

ああ、父上、母上、年端もいかぬ妹よ。最期まで己の身では無く、おれの身を案じた弟よ。仇はとれませんでした。

もうすぐおれも、其方へ逝きます。

「もうやだあ！ どうしてこの家ってゴキブリがこんなに出るわけ！？」

かのじよ たいよう

この夏が終われば、きっと私の命は枯れ果てるのだわ。  
張りのあるこの肌はしみだらけになってしわくちやの老婆のよう  
になるのだわ。

自慢の美しいこの黄金の髪は抜け落ちていくのだわ。

嫌。嫌よ、そんなの絶対に嫌だわ。

ああ、夏の太陽よ。燦々と私に降り注ぎなさい！

もっと！ もっとよ！

もっともっとと光をちょうだい！ もっと私を輝かせて！

そうよ。そうすれば、きっと私は一日でも長く彼の前で美しく咲  
き誇ることが出来るのだわ！

ああ、ねえ、愛しい貴方。もっと私を見てちょうだいよ。そうす  
れば、もっともっと、私、うんと美しく咲いてみせるわ。

この命を、咲かせてみせるわ。

ねえ、私を見て。

私は太陽の化身

(待って、私から目を逸らしちゃ嫌！)

(ずっと私を見ていて?)

(そうすれば、太陽なんかよりも優しい光で貴方を包んであげるわ)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3303z/>

---

短編集

2011年12月11日13時48分発行